

系	統	2液型エポキシ樹脂系打継ぎ用接着剤
特	長	1) 超速硬コンクリートの超速硬化性に応じた、早期接着強度発現性を有する。 2) 新旧コンクリートの打継ぎ接着性に優れる。 3) 湿潤面への接着性に優れる。
用	途	1) 超速硬コンクリートの打継ぎ、嵩上げ用 2) NEXCO 床版上面増厚工 構造物施工管理要領 平成 22 年 7 月 東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社 3) 空港コンクリート舗装の薄層付着オーバーレイに関する研究 国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究報告第 30 号 平成 18 年 9 月 4) 鋼床版橋梁の疲労耐久性向上技術に関する共同研究(その 2・3・4) 報告書 独立行政法人土木研究所 共同研究報告書 整理番号第 395 号 平成 21 年 10 月
配	合	主 剤：硬化剤 = 3 : 1 (重量比)
荷	姿	10kg セット (主剤 / 7.50kg、硬化剤 / 2.50kg)
外	観	主 剤...白色粘稠液状 硬化剤...淡黄色液状 混合物...白色粘稠液状

## 可使時間・打設有効時間

タイプ	冬用 (W)			春秋用 (R)				夏用 (S)			
温度 [°C]	5	10	15	10	15	20	25	20	25	30	35
可使時間 [分]	20	15	10	35	20	15	10	35	20	15	10
打設有効時間 [分]	90	60	40	90	75	60	40	90	75	60	40

可使時間：接着剤混合開始から塗布作業ができなくなるまでの時間。

打設有効時間：接着剤混合開始からコンクリートの打設を終了しなくてはならない時間。

比	重	1.20 ± 0.10 (硬化物)
標	準	使用量 1.2 kg/m <sup>2</sup>
貯	蔵	保証期間 12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 区 分 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
使	用	方法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 計量して使用する場合、主剤を均一になるまで混合してから計量すること。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛、ゴムベラなどで打継ぎ面に塗布する。 4) 打設有効時間内に超速硬コンクリートを打設する。 5) コンクリートの養生を行う。
使	用	上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、脆弱部の除去) 2) 接着面に浮き水がある場合は、浮き水を除去する。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 可使時間内に塗布作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。 6) 可使時間が短いため、主剤、硬化剤を均一に混合したら、素早く塗布を行う。 7) 夏期施工時は、可使時間が短くなるため直射日光下に製品を置かないこと。 出来る限り使用直前まで現場事務所等の冷暗所に保管すること。 8) 打設有効時間内に、超速硬コンクリートの打設を終了する。

<b>△ 注 意</b>
--------------

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>4. 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。</li> </ol> |
|---|